

---

# tune † cross

天城 あいる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

tune+cross

### 【ZPDF】

Z7600

### 【作者名】

天城 あいる

### 【あらすじ】

舞台は魔法が存在する世界。クロス帝国とアイルス王国の長きに渡る戦争が続いていた。そこで育ての親のパウロ・アルマークを失ったヨシュア。だが、パウロを殺した犯人とヨシュアの間には、宿命とも言える関係があった。

ヨシュアは何を選択し、どう生きていくのか

あの時の事は昨日のことのように鮮明に想い出すことが出来る。ザアザア。雨が俺の回りに降り注いでいた。傘をささずにたつている俺を取り囲むように、そこにただひとつ孤独を作り出す。視線を前に向けると、そこには簡素な棺桶があつた。シルバーの十字架のペンダントが掛かっている。それは彼の物だ

そのペンダントを指で掬い、ギュッと握った。雨で冷たく冷えきつていた。ふと、雨が止んだ。黒い傘に引き込まれた俺の体はいとも簡単にその人に寄りかかる。

「…パウロは、殺されたんだ…」

「そう、なんですか」

少し女にしては低い声が耳元で聞こえた。悲痛そうに眉を潜めた彼女は俺の返答にまた、眉を潜めた。恐らく悲しむか激昂するかだと思つたのだろう。だが、俺はそうしなかつた。いや、出来なかつた。

パウロが死んだとこつことをまだ理解しようとしている。受け入るのをひたすら拒否している自分に嫌気がさす。

彼女、ヒレミアさんは俺をゆっくり抱き締めた。幼い俺はされるがままに彼女の腕の中に収まつた

「ヨシュア。お前はパウロの息子だ」

「…違いますよ。ヒレミアさん。俺は親が居ない」

「お前の親はパウロだ。六つの時から誰がお前を育ててくれた?パウロだらつ

愛情を持つて、アイツはお前を育てた。これを親と言わざなんという?」「…

「…そう、だけど、俺は捨て子なんだ」

「…そうだ。だが、六つのヨシュアに出会つたあの時、パウロは嬉しそうにあたしに『俺の息子だ』と紹介しだらつ」

「……………パウロ」

呴いた言葉は空に消え、雨の音に搔き潰された。もう一度彼の名前を呼ぶけど、欲しい返事が帰ってくることはもう無い。

エレニアさんがもう一度言った。

「ヨシコア・アルマーク。パウロ・アルマークを忘れよつとするな

よ

辛いはずなのに、ヒヒヒヒと笑つたエレニアさんの笑顔が、いやに鮮明だつた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7600/>

---

tune † cross

2010年10月9日21時54分発行